
§ 異世界魔法幻想曲 §

黎苑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

§ 異世界魔法幻想曲 §

【Nコード】

N 8 4 4 4 M

【作者名】

黎苑

【あらすじ】

『科学』。

私たちのいる人間界の代表。

『魔法』。

私達が否定し続けてきた、いわば『科学』の敵。

科学と魔法は常に対の関係にある。

人間界 対 魔法界

二つの対なる世界は決して交わるこがなかった。

——そう、あの日までは・・・。

そして、《魔法》と《科学》。

この2つの世界は決して交わることは無かった。

——否、交わることは許されなかった。

本文からのコピー。連載中です。

【プロローグ】Start of the world

『科学』。

私たちのいる人間界の代表。

『魔法』。

私達が否定し続けてきた、いわば『科学』の敵。

科学と魔法は常に対の関係にある。

人間界 対 魔法界

天と地の差である。

旧約聖書の創世記きようやくせいしじにはこうある。そうせいき

1：創世記 / 1章 1節

『初めに、神は天地を創造された。』

二つの対なる世界は決して交わるがなかった。

——そう、あの日までは……。

「《闇》次空間の歪み……いや、異空間と言ったところか。」

光一つ無い《闇》が辺りに広がっている。

それはまるで黒いヴェールかのように。

「科学において《闇》とは、周囲に比べて光の量が少ないことを指す。」

「これのどこが『光が少ない』なのか分からないね。真っ暗じゃないか。やはり、《科学》の考え方は分からね。」

「もともと、光の科学的な定義では、可視光線以外の電磁スペクトルも含むため、完全な闇を作り出すことは物理的に不可能であるとされている。」

強いて言うのであれば、『光の届かない周囲全体が、黒またはそれに近い色に包まれた状態。』だな、これは。」

「もともと《科学》なんて迷信、信じる方が馬鹿なのかもね。」

「迷信、という意味では《魔法》も同じだと言うこと理解して頂きたい。」

4：創世記 / 1章 3節

『神は言われた。「光あれ。」こうして、光があつた。』

5：創世記 / 1章 4節

『神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分け、光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があつた。第一の日である』

「違う・・・これは、《夜》だ。」

「夜？・・・『^{だいいち}第一の日^ひ』。此^{ここ}処は・・・世界の始まりだとも？・・・まさか！？」

「その「まさか」かもな。ほら、あれを見る。」

6：創世記 / 1章 6節

神は言われた。「水の中に大空あれ。水と水を分けよ。」

7：創世記 / 1章 7節

神は大空を造り、大空の下と大空の上に水を分けさせられた。そのようになった。

8：創世記 / 1章 8節

神は大空を天と呼ばれた。夕べがあり、朝があつた。第二の日である。

辺りには光があつた。《地球》の自転により、太陽と呼ばれる星の日の光を受けた。

「朝・・・か。」

「『光があれば、闇がある。』この考え方は《魔法》と《科学》に共通するか——。」

《魔法》と《科学》。この2つの世界は決して交わることは無かった。

——否、交わることは許されなかった。

【プロローグ】～Start of the world～（後書き）

前回の作品に一日で飽きてしまい、連載どころか【プロローグ】までしか書きあがっていないのを理解しつつ、完全に無視して新たに投稿ww

やたらと『、《（かつこ）を使い、さらには旧約聖書の本文までをも持ち出してきてしまうこの粗末さ・・・。

救いようがないですね。

と、愚痴はこのくらいにしつつ、前書きも無しにいきなり本文で、登場人物の名さえはつきりしません、この話では魔法と科学のコラボレーションを果たしていくのが目的。

詳しいことは、次話に期待！！

→今、説明するのが面倒なだけであつた。orz

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8444m/>

§ 異世界魔法幻想曲 §

2010年10月12日07時21分発行